
目 次

1. 専攻分野および募集人員	2 頁
2. 出願資格	3 頁
3. 出願資格審査	4 頁
4. 社会人対象コース	5 頁
5. 大学院特待生制度	5 頁
6. 出願手続	6 頁・7 頁
7. 出願上の注意事項	8 頁
8. 選抜方法	9 頁
9. 試験期日および場所	10 頁
10. 合格発表	10 頁
11. 入学手続	11 頁
12. 奨学金制度	12 頁
13. 学生教育研究災害傷害保険	12 頁
14. 個人情報保護	12 頁
15. 受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の相談受付	13 頁
16. 専攻分野（コース）・研究指導教員	14 頁～26 頁

1. 専攻分野および募集人員

医学研究科

専攻	専攻分野	募集人員
医科学系	生体構造学、生体統合制御学、疾患プロテオーム・分子病態治療学、臨床微生物・感染制御学、臨床薬理学、病理病態学、再生医学・免疫病態医学、健康・環境制御医学、法医学、難治性疾患病態制御学、内科学*1、小児科学、神経精神科学、放射線医学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、外科学*2、脳神経外科学、整形外科、産婦人科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、麻酔学、形成外科学、救急医学、スポーツ医学、臨床検査医学、応用分子腫瘍学、臨床腫瘍学、感染症学、リハビリテーション医学、疾患バイオマーカー・標的分子制御学、分子神経科学、臨床再生組織工学、医療情報処理技術応用研究分野、バイオインフォマティクス学、生活習慣病プロフェッショナル養成コース*3、最新医学研究コース*4、高度臨床医育成コース*5、未来がん医療プロフェッショナル養成コース	60名

- * 1 内科学は、総合診療内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器・肝臓内科、腎臓・高血圧内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、血液・腫瘍内科、リウマチ・膠原病・アレルギー内科の9コースからなる。
- * 2 外科学は、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科の5コースからなる。
- * 3 生活習慣病プロフェッショナル養成コースは、今回募集を行わない。
- * 4 最新医学研究コースは社会人を対象としており、大学院学生が研究指導教員を選択し研究を行うコースである。
- * 5 高度臨床医育成コースは、内科学、画像診断学、外科学、総合診療の4コースからなる。

2. 出願資格

【一般入学試験】

出願できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 1) 大学の医学部医学科、歯学部又は修業年限6年の獣医学若しくは薬学を卒業した者および2022年3月卒業見込みの者。防衛省設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校（医学教育部医学科）を卒業した者および2022年3月卒業見込みの者。
- 2) 外国において学校教育における18年間の課程（最終の課程は医学、歯学または獣医学、薬学）を修了した者および2022年3月修了見込みの者。
- 3) 文部科学大臣の指定した者。

（注）文部科学大臣の指定した者とは、次のうちいずれかに該当する者をいう。

- ① 修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む）で大学院又は専攻科において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。
 - ② 大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの及び獣医学を履修する課程を除く）を卒業し並びに防衛省設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校（医学教育部看護学科）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院又は専攻科において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。
- 4) 本大学院が、大学の医学部医学科、歯学部又は修業年限6年の獣医学部若しくは薬学部を卒業した者と同等以上の学力がある、と認められた者。

注

- (1) 受験しようとする者は、出願期間以前に希望する専攻分野(コース)の研究指導教員に出願の許可を得ること。
- (2) 1)、3)、4)の「大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学とする。

(備 考)

- ・原則として、内科学、小児科学、神経精神科学、放射線医学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、外科学、脳神経外科学、整形外科、産婦人科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、麻酔学、形成外科学、救急医学、臨床腫瘍学、最新医学研究コース、高度臨床医育成コース、未来がん医療プロフェッショナル養成コースの志願者にあつては、医師法に定める2年以上の臨床研修修了者または2022年3月修了見込みの者であること。

3. 出願資格審査

出願資格審査について

- ・出願資格 1) に該当する者は、出願資格審査を必要としない。
 - ・出願資格 2)、3)、4) に該当する者は、出願する前に出願資格の審査を受け、その結果に基づき出願すること。(不明な点は、大学院・研究推進課大学院係に問い合わせること。)
- a 出願資格審査申請を希望する者は、事前に大学院・研究推進課大学院係へ連絡すること。
- 提出書類
- 1) 入学試験出願資格認定申請書
 - 2) 研究業績目録
 - 3) 成績証明書〔出身大学・大学院(学部・研究科)長の発行したもの〕
 - 4) 卒業証明書〔出身大学・大学院(学部・研究科)長の発行したもの〕
- b 出願資格審査申請受付期間
- 第1次募集の場合：2021年9月2日(木)まで**
- 第2次募集の場合：2021年12月3日(金)まで**
- (第2次募集は第1次募集試験の合格発表後、定員に欠員がある場合のみ行う。)**
- c 出願資格審査の結果は、下記の日時までには通知する。下記日時までに通知のない場合、大学院・研究推進課大学院係に問い合わせること。
- 第1次募集の場合：2021年10月1日(金)まで**
- 第2次募集の場合：2021年12月24日(金)まで**

4. 社会人対象コース

社会人を受け入れるため、最新医学研究コースを設置している。

社会人対象コースに出願できる者は、以下 a～c の全ての条件を満たす者とする。

- a. 出願時に病院、診療所、研究所、教育機関又は保健機関等(本学施設を除く)に勤務しており、入学後もその身分を有し、勤務先の機関長又は任命権者の受験及び就学の承諾を受けた者
- b. 3 頁 2. 出願資格 1)～4)のいずれかに該当する者。
- c. 原則として、医師法に定める 2 年以上の臨床研修を修了している、または 2022 年 3 月修了見込みの医師である者。

* 医師以外の者が申請する場合には、原則として、以下の初期臨床研修の修了を要さない専攻分野(コース)の研究指導教員の了解を事前に受けること。

原則として初期臨床研修の修了を要さない専攻分野(コース)：生体構造学、生体統合制御学、疾患プロテオーム・分子病態治療学、臨床微生物・感染制御学、臨床薬理学、病理病態学、再生医学・免疫病態医学、健康・環境制御医学、法医学、難治性疾患病態制御学、スポーツ医学、臨床検査医学、応用分子腫瘍学、感染症学、リハビリテーション医学、疾患バイオマーカー・標的分子制御学、分子神経科学、臨床再生組織工学、医療情報処理技術応用研究分野、バイオインフォマティクス学

5. 大学院特待生制度

大学院特待生制度は、以下 a～c の全ての条件を満たした者を対象とする。

- a. 本学医学部卒業時に、明石賞または医学会賞を授与された者。
- b. 本学医学部卒業後 5 年以内に、本学大学院入学試験に合格した者。
- c. 大学院修了後も引き続き本学で教育・研究に従事し、医学研究の発展に寄与できると判断された者。

大学院特待生は、4 年間に納付すべき入学金及び授業料を免除される。

ただし、最新医学研究コース(社会人対象コース)を専攻する者は、大学院特待生制度の対象とならない。

詳細は、大学院・研究推進課大学院係に問合せること。

6. 出願手続

- 1) 出願期間 **第1次募集**：2021年8月27日（金）から10月8日（金）まで
第2次募集：2021年12月1日（水）から2022年1月4日（火）まで
(第2次募集は、第1次募集試験の合格発表後、定員に欠員がある場合のみ行う。)
※試験日は、第1次募集・第2次募集における本試験の日程のみとなります。感染症対策として試験当日に発熱等がある方は受験できない場合もありますので、第1次募集にて受験願います。
なお、上記の理由により第1次募集入学試験を受験できなかった場合は、第2次募集入学試験の検定料を免除します。

○出願書類を持参する場合

受付時間

〔	平日：午前9時から午後5時まで
	土曜日：午前9時から正午まで

〕

※日曜・祝祭日、開学記念日（10月9日）、年末年始（2021年12月29日～2022年1月3日）は対応しない。

○出願書類を郵送する場合

上記出願期間内に必着のこと。

必ず書留郵便とし、封筒に「大学院医学研究科出願書類在中」と朱書きすること。

2) 出願書類提出先

〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1 聖マリアンナ医科大学 教学部 大学院・研究推進課 大学院係 Tel. 044-977-8111 内線：4062、4063

3) 出願書類等

出願書類等		摘 要	選抜方法	
			一 般	社会人
1	入学願書A B C D	本学所定の用紙を使用のこと。Aの裏面も記載のこと。	○	○
2	志望理由書	本学所定の用紙を使用のこと。	○	○
3	成績証明書	出身大学（学部）長が発行し厳封したもの。	○	○
4	卒業（見込）証明書	出身大学（学部）長が発行したもの。	○	○
5	臨床研修修了（見込）証明書	臨床研修修了見込みの者は、必ず出願時に臨床研修修了（見込）証明書を提出すること。また2022年4月1日までに臨床研修修了証明書を提出すること。	○	○
6	特別永住者証明書又は 在留資格カードの写し	有効期間記載のもの。	○	○
7	医師免許証等の写し	医師は医師免許証、医師以外の者は、取得している看護師、薬剤師、管理栄養士等の免許証の写しを、A4版に縮小コピーして提出すること。	○	○
8	大学院研究科成績証明書	出身大学（研究科）長が発行し厳封したもの。	○	○
9	大学院研究科課程修了 （見込）証明書	出身大学（研究科）長が発行したもの。	○	○
10	受験許可・就学承諾書	所属する機関の機関長又は任命権者の発行したもの。 （本学所定用紙）	—	○
11	写真2枚	願書貼付用のもの。	○	○
12	入学検定料	¥30,000を本学所定の振込用紙を使用して振り込み、入学検定料振込証明書を入学願書Cに貼付すること。	○	○

- * 本学卒業（見込）者は、3、4の提出の必要はない。
- * 本学臨床研修修了（2022年3月修了見込）者は、5の提出の必要はない。
- * 日本以外の国籍を有し特別永住者である者は、有効期間記載の6を提出すること。
- * 他大学院を修了または修了見込みの者は8と9を、退学した者は8を提出すること。
- * 外国語（英語）試験免除を希望する者及び日本語を母国語としない受験者は、9頁の2）3）を参照の上、必要書類を提出すること。

7. 出願上の注意事項

- 1) *印の欄には記入しないこと。
- 2) ペン（黒のインク、ボールペンも可）を使用すること。消せるボールペンや消えやすいインク、鉛筆などで書かれた書類は受理しない。
- 3) 本人自筆で楷書にて記入すること。（本人以外の者が記入した場合は、無効とすることがある。）
- 4) 該当事項は○印で囲むこと。
- 5) 氏名のふりがなは必ず記入すること。
- 6) 氏名は戸籍に記載された文字を正確に記入し、生年月日は算用数字を用いること。外国人については特別永住者である者は特別永住者証明書に記載された氏名を用いること。
- 7) 電話は市外局番・電話番号を必ず記入すること。
- 8) 入学願書 B C D は切りはなさないこと。
- 9) 出願手続き完了後の志望専攻分野（コース）の変更はできない。
- 10) 内科学および外科学専攻分野は複数の研究内容に分かれ、それぞれコース制としているのでコース名まで選択し、記載すること。
（例：内科学（循環器内科））
- 11) 志望する専攻分野（コース）の研究指導教員の了解を得て、入学願書に捺印してもらうこと。
- 12) 写真は最近3ヶ月以内に撮影したもので、縦4cm×横3cmとし、上半身、脱帽、背景無しに限る。裏面に氏名を記入すること。2枚とも志願票の所定の欄に貼付すること。
〔男性〕 スーツ（上着）・ネクタイ着用
〔女性〕 スーツ、又は襟・袖ありの服装
- 13) 出願書類に記載すべき事項の記入漏れ、その他不備のある場合は、出願書類を受理しないことがある。
- 14) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、合格を取り消すことがある。
- 15) 受理された出願書類および入学検定料は、理由の如何を問わず一切返却しない。
- 16) 受験票は下記期間までに、大学院・研究推進課 大学院係まで受取りに来ること。
- 17) 社会人受験者で受験票を下記期間に受取りに来られない場合は、事前に申し出れば郵送も可能である。

受験票受取期間

第1次募集：2021年10月12日（火）から10月20日（水）まで

第2次募集：2022年1月5日（水）から1月6日（木）まで

受付時間

{	平日：午前9時から午後5時まで
	土曜日：午前9時から正午まで

※日曜・祝祭日は対応しない。

8. 選 抜 方 法

1) 選抜方法

入学者は、学力試験、面接試験および出身大学の成績証明書の内容等を総合し、選抜される。

2) 外国語（英語）試験について

受験者は、出願時に「外国語（英語）試験受験（英文和訳等）」と「外国語（英語）試験免除」を選択できる。

「外国語（英語）試験免除」を希望する者は、出願時に以下（1）～（4）のいずれかの証明書を提出すること。

【外国語（英語）試験免除条件】

以下（1）～（4）のいずれかを満たしている場合は、外国語（英語）試験を免除する。希望者は、受験願書とともに以下（1）～（4）のいずれかの証明書を提出すること（原本を提出のこと。確認後に写しを取り、原本は返却する）。2015年1月1日以降の記録を原則とする。

- (1) TOEFL（トーフル） iBT：76点以上、Paper：540点以上
- (2) IELTS（アイエルツ） 6.0以上
- (3) TOEIC（トエイック） 700点以上
- (4) CET（中国の大学英語試験）6級合格（中国では6級は大学院入学の条件）

※希望者は認定書または合格通知書（スコアシート等一定基準が確認できる書類）を提出すること。

3) 日本語を母国語としない受験者について

日本語を母国語としない受験者は、日本国際教育支援協会（国内）・国際交流基金（国外）が実施する日本語能力試験（略称 JLPT）N5 以上（旧試験において4級以上）の合格者であることが望ましい。上記合格者は、証明書を出願時に提出すること（原本を提出のこと。確認後に写しを取り、原本は返却する）。

9. 試験期日および場所

試験日	試験科目	時間	試験場
第1次募集： 2021年11月5日(金)	外国語(英語)試験	9:00~10:30	病院別館8階 臨床講堂
	専攻分野別試験	11:00~12:00	
第2次募集： 2022年1月7日(金)	面接試験	13:00~17:00 (時間帯の間で実施)	各専攻分野

- ※ 外国語(英語)試験については、辞書の持ち込みを許可する。
(電子辞書も可。ただし翻訳・通信機能のある電子機器[携帯電話等を含む]は不可。
フレーズ辞書・参考書等については電子辞書・辞書共に使用不可。)
- ※ 専攻分野別試験は、志望した専攻分野(コース)の研究内容を問う。
- ※ 第2次募集は、第1次募集試験の合格発表後、定員に欠員がある場合のみ行う。
- ※ 面接試験の場所は、試験前日までに志望専攻分野の研究指導教員に確認しておくこと。
- ※ 感染症対策として試験当日朝の体温・体調を記載した「健康チェックシート」の提出及び本学入構時・試験会場入場時に検温を求める場合がある。

10. 合格発表

第1次募集：2021年12月2日(木) 午後2時

第2次募集：2022年2月3日(木) 午後2時

本学医学部本館1階公示板及び3階大学院掲示板に掲示し、本学ホームページで発表する。

(<https://www.marianna-u.ac.jp/gs/>)

注意：電話や郵便などによる合否の問合せには一切応じない。万一、ホームページと本学公示板・掲示板に違いがある場合は、本学公示板・掲示板の内容が優先される。

11. 入学手続

合格者には、合格証および入学手続書類を交付するので、受験票持参の上、大学院・研究推進課大学院係窓口まで申し出ること。

第1次募集の場合

入学手続書類交付期間： 2021年12月2日（木）から12月8日（水）まで

入学手続期間：2021年12月3日（金）から12月17日（金）まで

第2次募集の場合

入学手続書類交付期間： 2022年2月3日（木）から2月9日（水）まで

入学手続期間：2022年2月4日（金）から2月18日（金）まで

手続き書類の交付を受けた者は、手続期間内に入学手続を完了すること。期間内に手続きを完了しなかった者は合格を取り消すものとする。

受付時間

〔	平日：午前9時から午後5時まで	〕
	土曜日：午前9時から正午まで	

※日曜・祝祭日は対応しない。

1) 入学手続書類

- ア. 学籍原簿 本学所定の用紙を使用。
- イ. 入学誓約書 本学所定の用紙を使用。
- ウ. 学生カード 本学所定の用紙を使用。
- エ. 住民票 1通
- オ. 写真3枚 学籍原簿・学生カードに各1枚貼付、学生証用に1枚提出。

2) 学資

入学者の納入すべき学資は下表のとおりである。本学所定の振込用紙を使用し、入学手続き期間内に完納すること。

なお、入学手続完了者が2022年3月31日（木）午後5時までに入学辞退を申し出た場合は、入学金を除いた学資を返還する。

	初年度学資	次年度以降学資
入 学 金	¥100,000	—————
授 業 料	¥400,000	¥400,000
合 計	¥500,000	¥400,000

*別に学位審査料（70,000円）、医学会費（4年間で21,000円）などが必要である。（金額は2021年4月1日現在）

12. 奨学金制度

本学では教育の機会均等の観点から、人物・学業ともに優秀かつ健康な学生で、経済的事由により学業の継続が困難な者に対して学資の援助を行っている。

区分	項目	対象者	貸与額
本学	大学院奨学金	学資支弁が困難でかつ学業、人物、健康ともに良好であると認められる者	貸与月額 50,000円
学外	日本学生支援機構奨学金	人物、学業ともに特に優れかつ健康であって、経済的理由により著しく修学が困難な者	貸与月額 (2021年度実績) 80,000円・122,000円 又は 50,000円～150,000円

* 上段は本学奨学生選考委員会、下段は日本学生支援機構が選考する。

13. 学生教育研究災害傷害保険

この保険は、学生が正課授業中または課外活動中の急激かつ偶然な外来の事故によって身体に傷害を被った場合、保険金が支払われる互助救済制度である。保険料は大学が負担しており、学生が安心して研究活動ができるよう、学生全員を対象として加入している。

14. 個人情報保護

個人情報保護に関しては、以下のとおり取り扱う。

1. 利用目的

出願に当たって提供された氏名、住所およびその他の個人情報は、次に掲げる目的に利用する。

- 1) 入学者選抜、合格発表、入学手続き等入学までの一連の業務を行うため。
- 2) 入学後の学籍関係(各種学籍管理処理および各種証明書発行等)、修学関係(学業成績等)およびそれらの各種連絡や通知を行うため。

2. 第三者への個人情報の提供について

個人情報の第三者への提供は、次に掲げる場合に限ることとする。

- 1) 本大学院の入学者について、名簿作成および各種連絡や通知等に使用するために、本学の同窓会である聖医会等に提供する場合、また、学位授与関係等の報告のために提供する場合。
- 2) 法律で定められた適正な手続きにより情報開示を求められた場合。

15. 受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の相談受付

1. 時期、方法

疾病・負傷・障害等がある入学志願者のうち、受験上および修学上の配慮を必要とする者は、出願時に大学院・研究推進課大学院係に相談すること。

必要に応じ疾病等に関する書類の提出や面談を求めることがある。

2. 出願時以降に疾病等が生じた場合

出願時以降に生じた疾病等により受験上または修学上の配慮が必要となった者は、速やかに大学院・研究推進課大学院係に申し出ること。

16. 専攻分野（コース）・研究指導教員

専攻分野（コース）	研究指導教員	主な研究内容
生体構造学	池森 敦子 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 機能組織学・臨床組織学的研究 2. 人体構造学・臨床解剖学的研究 3. 腎臓病研究 4. 運動器疾患の臨床解剖学的研究 5. 画像解剖学的研究 6. 骨の解剖学および形態人類学的研究 7. 上皮細胞のイオン輸送機構 8. ホルモンによる組織形成調整機構 9. 細胞膜損傷の修復機構 10. 脳内ペプチドによるシグナル伝達機構
大学院専用アドレス ; daigakuin-seitaikouzou@marianna-u.ac.jp		
生体統合制御学	舩橋 利也 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. ゴナドトロピン分泌の中枢性調節機序 2. 痛み行動の性差の神経基盤 3. 子育て行動の神経基盤 4. 骨格筋可塑性の生理学的機序 5. 摂食行動調節の神経基盤 6. 小脳の可塑性の神経基盤
大学院専用アドレス ; daigakuin-integrative@marianna-u.ac.jp		
疾患プロテオーム・分子病態治療学	加藤 智啓 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロテオミクスによる治療標的蛋白質の探索 2. プロテオミクスによるバイオマーカーの探索 3. 疾患特異的蛋白質翻訳後修飾の解析 4. 自己免疫疾患の病因病態の分子解析 5. シェディングに関わる細胞表面蛋白質の解析 6. ライリンの機能解析
大学院専用アドレス ; daigakuin-clinproteomics@marianna-u.ac.jp		
臨床微生物・感染制御学	竹村 弘 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 抗微生物薬の薬効評価 2. 宿主・病原微生物・抗微生物薬の相互関係の解明 3. 細胞内寄生細菌の病原性と宿主応答 4. ダイナミンによる膜輸送機構の解析 5. ウイルスの翻訳開始因子制御機構の解析 6. 多剤耐性菌の耐性機序と分子疫学の解析 7. 病原微生物の迅速検出法の開発 8. 各種成分の抗菌作用および併用効果の評価 9. 病原真菌と細菌の相互作用解明 10. 病原微生物の生体内播種機構の解明と予防法開発
大学院専用アドレス ; daigakuin-clinmicrobiol@marianna-u.ac.jp		

専攻分野（コース）	研究指導教員	主な研究内容
臨床薬理学	松本 直樹 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本人の消化管・肝臓に発現する薬物代謝酵素の機能解析 2. 日本人の肝細胞を用いた薬物相互作用の研究解析 3. 循環器疾患治療薬の臨床薬理学的研究 4. 臨床研究の教育に関する研究 5. 脂肪組織を用いた再生医療に関する研究 6. G 蛋白質共役型受容体の機能解析と疾患の関連に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-cpt@marianna-u.ac.jp		
病理病態学	小池 淳樹 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 腫瘍発生に関する分子病理学的研究 2. 骨・軟部腫瘍の病態と組織発生に関する研究 3. 乳腺疾患病態病理学的・治療学的研究 4. 消化器疾患の病態に関する研究 5. 腎・泌尿器疾患に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-pathology@marianna-u.ac.jp		
再生医学・免疫病態医学	※1 鈴木 登 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 胚性幹細胞および iPS 細胞を用いた新規治療法の開発 2. 再生医療における組織修復の分子メカニズムの解析 3. 免疫調節機構の解析と各種免疫疾患での治療応用 4. アレルギー疾患の病態解析と新規治療法の開発
大学院専用アドレス ; daigakuin-ri@marianna-u.ac.jp		
健康・環境制御医学	高田 礼子 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. アスベストや食品中ヒ素化合物等の有害環境物質による健康障害の予防・根絶に向けた研究 2. 遺伝的感受性素因からの疾病予防に関する研究 3. 健康・臨床情報を用いた疫学研究 4. DPC データ・レセプトデータを用いた医療の質の研究 5. 臨床指標を用いた PDCA サイクルに基づく医療の質の改善の取り組み 6. 「語り」「記述」の質的データ分析 7. 健康の社会的決定要因に関する実証研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-preventive-med@marianna-u.ac.jp		
法医学	※1 向井 敏二 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童虐待に関する臨床法医学的研究 2. トランスポーターを介した薬毒物の体内動態に関する研究 3. 循環系突然死に関する病理形態学的研究 4. DNA 多型解析法に関する研究 5. 口腔内液（唾液）中に存在する DNA に関する研究 6. 唾液腺組織を用いた法医病理診断法に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-legalmedicine@marianna-u.ac.jp		

専攻分野（コース）	研究指導教員	主な研究内容
難治性疾患病態制御学	遊道 和雄 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 難治性疾患の病因、病態の研究 2. 骨関節疾患の次世代再生医療技術の創生 3. 医療に向けて、ナノテクノロジーを応用したナノメディシンの開発 4. 知財研究、とくに研究成果の社会還元 5. ゲノム医療に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-nanchishikkan@marianna-u.ac.jp		
内科学（総合診療内科）	※2 遊道和雄（兼）(代行)	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスクファクターと疾病発症との関連に関する臨床疫学的研究 2. プライマリケアに必要な迅速診断キットに関する研究 3. 地域で捉えた医療連携システムの開発に関する研究 4. 卒前教育に必要なクリニカルスキルに関する研究 5. 外来受診時の症状の表現の仕方による診断予測の試み
大学院専用アドレス ; daigakuin-primary-tiki@marianna-u.ac.jp		
内科学（呼吸器内科）	峯下 昌道 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 気道狭窄に対する呼吸器インターベンション 2. 気道内圧、および呼気中 CO₂, O₂ を用いた呼吸生理学的検討 3. 難治性気胸の治療 4. COPD の内視鏡的治療 5. 気管支喘息の内視鏡的治療 6. 肺癌の診断と治療 7. 気管支腔内超音波検査法 8. レーダーを用いた呼吸モニター及び肺機能検査 9. 高齢者における呼吸器疾患
大学院専用アドレス ; daigakuin-respiratory@marianna-u.ac.jp		
内科学（循環器内科）	明石 嘉浩 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 弁膜症のカテーテル治療 2. 運動負荷エコーによる心機能解析 3. 心臓超音波を用いた心機能指標の評価 4. 低心機能患者に対する心室再同期治療 5. 難治性不整脈に対するカテーテル治療 6. 心臓リハビリテーションと末梢骨格筋 7. 冠動脈イメージング 8. 失神の臨床研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-cardiology@marianna-u.ac.jp		
内科学（消化器・肝臓内科）	※1 伊東 文生 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. ヒトと病原体のゲノム解析に基づく消化器発癌機構解明 2. B 型肝炎の長期予後に関する研究 3. 次世代シーケンスを用いたウイルス多様性に関する研究 4. 急性胆管炎に対する内視鏡治療アルゴリズムの確立 5. DIC 合併急性胆管炎に対する治療ストラテジーの確立 6. 治療選択の指標になりうる新しい診断法の開発 7. 新規肝臓発癌マーカーの開発
大学院専用アドレス ; daigakuin-shokakinaika@marianna-u.ac.jp		

専攻分野（コース）	研究指導教員	主な研究内容
内科学（腎臓・高血圧内科）	柴垣 有吾 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロテオミクスを用いた腎疾患の発症・進展機序の解明 2. 脂肪酸結合蛋白の腎保護作用の検討とその応用 3. CKD における血管障害と病態の臨床的検討 4. レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系と腎障害発症・進展への関わりの基礎的および臨床的検討 5. 腎血行動態と腎障害の関係の基礎的および臨床的研究 6. 腎移植ドナーの予後に関する研究 7. 腹膜透析の長期予後に関わる基礎研究 8. 高齢 CKD 患者の身体認知機能に関する研究 9. アウトカムとしての希望に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-nephrology@marianna-u.ac.jp		
内科学（代謝・内分泌内科）	曾根 正勝 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 肥満とインスリン抵抗性に関する研究 2. 糖尿病合併症に関する研究 3. 糖尿病と栄養・食事療法に関する研究 4. 副腎腫瘍の診断に関する研究 5. 下垂体・甲状腺・副腎疾患の疫学研究 6. iPS 細胞を用いた内分泌細胞の分化研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-metabolism@marianna-u.ac.jp		
内科学（脳神経内科）	山野 嘉久 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳卒中急性期治療法の開発 2. 神経疾患の分子学的・免疫学的機序に関する研究 3. 神経超音波学的研究 4. 人工知能を用いた運動解析による診断・治療法の開発 5. 脳卒中医療システム開発 6. 遠隔医療技術の開発 7. 神経難病の診断・治療法の開発
大学院専用アドレス ; daigakuin-neurology@marianna-u.ac.jp		
内科学（血液・腫瘍内科）	新井 文子 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 難治性血液疾患の病態解明と治療法の開発 2. 慢性活動性 EB ウイルス感染症の病態解明と治療法の開発 3. EB ウイルスによる発がん機構の解明 4. 多発性骨髄腫に対する治療法の開発 5. 染色体・遺伝子変化に基づいた B 細胞性リンパ腫治療法の開発
大学院専用アドレス ; daigakuin-hematology@marianna-u.ac.jp		

専攻分野 (コース)	研究指導教員	主な研究内容
内科学 (リウマチ・膠原病・アレルギー内科)	川畑 仁人 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人及び小児関節炎疾患の病態解明及び移行期医療に関する研究 2. 新たな細胞集団解析法に基づく膠原病の病態解明と治療への応用 3. 難治性血管炎の病態解析と治療法の確立 4. 皮膚筋炎の病態を反映するバイオマーカーの開発 5. リウマチ性疾患における感染症のリスク解析と予防法の開発 6. ループス腎炎の病態解明と治療法の開発 7. リウマチ性疾患における新規画像解析法の開発 8. ワクチンの安全性に資する IgE 測定系の開発 9. 間質性肺炎病理組織を用いた病態の解明 10. COVID-19 の臨床免疫学的研究 11. 免疫関連有害事象の臨床免疫学的研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-rheum-allergy@marianna-u.ac.jp		
小児科学	清水 直樹 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救急集中治療 : Heliox 新規治療法、Microvesicles と体外循環 (ECMO)、新興感染症・災害・蘇生科学研究 2. 血液 : ステロイドによる血栓症発症の原因解明、第 VII 因子の新たな止血機能の解明と血友病治療への応用 3. 腫瘍 : リンパ腫に対する新しい診断・治療法の開発、小児がん・造血細胞移植患者の妊孕性温存 4. 遺伝 : 人工知能 (AI)、次世代シーケンサーなど新しい解析技術を用いた難病検査開発、疾患早期発見実践 5. 神経 : てんかん重積状態の小児に対する新しい治療戦略、小児てんかん外科の適応検討と周術期管理の研究 6. 腎臓 : Wistar ラットを用いたミゾリピン血中濃度に与えるプレドニゾロンの影響にかかる動物実験 7. 内分泌代謝 : 成長決定遺伝子 SHOX とメチル化に関する研究、学校検尿による糖代謝異常早期発見の検討 8. アレルギー : 発症予測研究、アレルゲンコンポーネント解析、呼気一酸化窒素測定と気管支喘息管理 9. 感染症 : 小児発熱性疾患に対する multiplex PCR 法の有用性、細菌性髄膜炎疫学研究 (神奈川県 2008~) 10. 循環器 : 心筋収縮蛋白と小胞体構成蛋白発現変化の研究、新生児左房機能の研究、川崎病の新規治療薬探索 11. 新生児 : 早産・低出生体重児の薬物動態と生理的パラメータに関する研究、生体情報ビッグデータ解析
大学院専用アドレス ; daigakuin-pediatrics@marianna-u.ac.jp		

専攻分野（コース）	研究指導教員	主な研究内容
神経精神科学	古茶 大樹 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神病理学および精神医学史領域の研究 2. 精神鑑定、医療観察法などの司法精神医学領域の研究 3. 主に認知症を中心とする老年精神医学領域の臨床的研究 4. 発達障害、摂食障害などの児童・思春期精神医学領域の臨床的研究 5. 統合失調症に関する基礎・臨床研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-psychiatry@marianna-u.ac.jp		
放射線医学	三村 秀文 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. CT、MRI、超音波を用いた生体高精細イメージングの研究 2. CT、MRI、核医学（PET など）を用いた生体機能イメージングの研究 3. 救急医療における先端画像診断の合理的利用方法の研究 4. 新しいインターベンショナルラジオロジー（IVR）の開発 5. IVRを用いた癌に対する高精度局所治療の研究 6. 新しい診断、治療の医療経済的価値評価の研究 7. 放射線治療を用いた新規治療開発 8. 緩和的放射線治療に対する評価尺度の開発
大学院専用アドレス ; daigakuin-radiology@marianna-u.ac.jp		
皮膚科学	門野 岳史 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 創傷治癒のメカニズムと細胞成長因子の役割 2. 悪性黒色腫細胞の増殖に関わる因子とその制御 3. 血管炎症候群の病態生理 4. アトピー性皮膚炎の発生メカニズムと治療 5. 皮膚リンパ腫の発生メカニズムと治療 6. 乾癬、接触皮膚炎などの皮膚炎症の制御 7. 悪性黒色腫に対する腫瘍免疫の制御
大学院専用アドレス ; daigakuin-dermatology@marianna-u.ac.jp		
腎泌尿器外科学	菊地 栄次 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 膀胱癌におけるマイクロ RNA を用いた診断法と治療法の開発 2. 移植腎生検における急性拒絶反応の低侵襲診断法の確立 3. 移植腎の長期予後を決定づける因子の解明 4. 尿路感染症の鑑別診断法に関する研究 5. 腎移植後の免疫抑制剤の至適血中濃度に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-urology@marianna-u.ac.jp		

専攻分野（コース）	研究指導教員	主な研究内容
外科学（消化器・一般外科）	大坪 毅人 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. フレイルの指標に関する検討 2. 鼠径ヘルニアの術前診断と治療に関する研究 3. 食道癌患者の周術期嚥下機能の評価 4. 膵頭十二指腸切除術前後の栄養状態の評価についての検討 5. 摘出臓器から分離したヒト細胞の培養法の確立 6. 消化器領域における再生医療 7. 消化器領域における幹細胞を用いた臨床応用 8. 消化器外科領域の Surgical Site Infection の発生要因とその対策に関する検討 9. サルコペニアが術後の経過に及ぼす影響に関する検討 10. 消化器外科領域における周術期の栄養管理に関する検討
大学院専用アドレス ; daigakuin-ggsurgery@marianna-u.ac.jp		
外科学（心臓血管外科）	宮入 剛 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳分離体外循環における至適灌流量の研究 2. 弓部大動脈置換術における薬物による脳保護効果 3. 胸腹部大動脈手術における各種薬物の対麻痺予防効果 4. 重症心不全の外科治療の研究 5. プロテオミクス解析による大動脈弁膜症成因の解明
大学院専用アドレス ; daigakuin-cardiovascular@marianna-u.ac.jp		
外科学（呼吸器外科）	佐治 久 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 進行肺癌に対する集学的治療開発に関する臨床試験 2. 人工気管の開発 3. 肺癌遺伝子異常と分子標的治療および免疫治療の研究 4. LC-MS/MS による肺癌タンパク質発現の解析 5. 分子生物学的検討による肺癌至適手術の適応決定 6. 胸膜被覆材料の研究 7. プロテオゲノミクス解析による肺癌細胞の研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-chestsurgery@marianna-u.ac.jp		
外科学（小児外科）	※2 遊道和雄（兼）(代行)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 胎児尿路閉塞における胎児治療の基礎的研究 2. 多嚢腎発生メカニズムの解明 3. 閉塞性尿路障害における膀胱機能 4. 膀胱羊水腔シャントチューブの開発 5. 先天性横隔膜ヘルニアの肺低形成発生のメカニズム 6. 脊髄髄膜瘤の胎児治療モデル作成 7. 腹壁異常における側弯症発生のメカニズム
大学院専用アドレス ; daigakuin-shonigeka@marianna-u.ac.jp		

専攻分野（コース）	研究指導教員	主な研究内容
外科学（乳腺・内分泌外科）	津川浩一郎 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳癌低侵襲手術の適応拡大と整容性向上 2. 皮膚温存・乳頭乳輪温存乳房切除および乳房再建術の安全性と整容性向上 3. 乳癌センチネルリンパ節生検の適応拡大と長期成績 4. 乳癌術前薬物療法の効果判定と効果予測 5. 乳癌分子標的療法の効果予測と治療成績 6. 転移乳癌における転移パターンの解析 7. 乳癌診療分野における人工知能（Artificial Intelligence (AI)）の活用 8. 副甲状腺組織の赤外線による自家蛍光の解明とその臨床応用 9. 機能性結節性甲状腺における、ホルモン分泌能の解明
大学院専用アドレス；daigakuin-breast-surgery@marianna-u.ac.jp		
脳神経外科学	※1 田中雄一郎 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 持続脳液モニタリング解析によるてんかん発症メカニズムの解明 2. 中枢神経電気生理学的研究 3. 脳動脈瘤発生メカニズム解明 4. 脳虚血に伴う neurovascular unit 損傷メカニズム解明 5. 脳神経外科手術における IoT (internet of things) 活用 6. 神経損傷における脳浮腫発生のメカニズム解明（頭蓋内圧波形解析） 7. 髄液産生吸収のメカニズム解明 8. 頭蓋内圧測定の新機器開発
大学院専用アドレス；daigakuin-neurosurgery@marianna-u.ac.jp		
整形外科	仁木 久照 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脊柱側弯症の長期観察研究 2. 転移性脊椎腫瘍および化膿性脊椎炎の集学的治療に関する研究 3. 新鮮凍結屍体を用いた安全な上肢手術アプローチの検討 4. 手指骨折の治療成績向上の研究 5. 新しいセメントレスカップ固定手技に基づいた新しいコンセプトの人工股関節の開発研究 6. 新生児検診による DDH 症例への早期治療介入の手法の確立 7. 前十字靭帯再建患者の筋線維タイプ別の筋力回復、リハビリテーションの適正化 8. 中年期半月板断裂に対して縫合術が変形性関節症予防に有用か 9. 距骨軟骨病変での術後軟骨再生の定量化と予後予測：T1 ρ マッピングを用いた縦断的研究 10. 変形性足関節症に対する病態解明、評価、治療法の確立
大学院専用アドレス；daigakuin-ortho@marianna-u.ac.jp		

専攻分野（コース）	研究指導教員	主な研究内容
産婦人科学	鈴木 直 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 婦人科悪性腫瘍に対する新たな治療薬開発に関する分子生物学的検討 2. 婦人科がん治療における QOL 評価（PRO）の検証に関する研究 3. 卵胞発育と閉鎖に関与する各種遺伝子の機能解析 4. ヒト卵胞の体外培養・成熟に関する基礎的研究 5. 早期閉経及び正常閉経後女性における脂質代謝、骨代謝に関する研究 6. 卵巣組織凍結・移植に関する基礎的研究と臨床応用 7. 卵巣移植に関する基礎的研究 8. 人工卵巣開発に関する研究 9. 胎盤超音波所見と病理学診断に関する研究 10. 超低流速カラードプラーの産科的臨床応用 11. 代謝内分泌異常合併妊娠の管理に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-sanpu@marianna-u.ac.jp		
眼科学	高木 均 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 糖尿病網膜症・黄斑変性の血管生物学的研究 2. 緑内障における視神経保護の薬理学的研究・免疫組織学的研究 3. 角膜組織再生保護の研究 4. 緑内障治療薬剤による眼組織障害の薬理学的研究 5. 硝子体手術法開発と網膜機能解析
大学院専用アドレス ; daigakuin-ophthalmology@marianna-u.ac.jp		
耳鼻咽喉科学	※1 肥塚 泉 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロテオミクスを用いた難聴病態の解明 2. プロテオミクスを用いためまい疾患病態の解明 3. 高解像度 MRI を用いた内耳疾患の病態の解明 4. めまい疾患に対するリハビリテーション法の開発 5. 宇宙医学（前庭系に関して）
大学院専用アドレス ; daigakuin-otolaryngology@marianna-u.ac.jp		
麻酔学	井上 莊一郎 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 周術期における AKI の研究 2. 気管ステント挿入術における麻酔法の検討 3. 周術期の超音波機器を用いたモニタリング 4. 各種術後鎮痛法の研究 5. 医療処置における動作、視線の解析
大学院専用アドレス ; daigakuin-anesthesiology@marianna-u.ac.jp		
形成外科学	梶川 明義 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 体性幹細胞の再生医学への応用 2. 色素・表皮細胞培養移植に関する研究 3. 毛包内毛の分化誘導に関する研究 4. 組織移植時、皮弁内血行動態変化に関する研究 5. 血管新生に関わる生理活性物質の臨床研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-prs@marianna-u.ac.jp		

専攻分野（コース）	研究指導教員	主な研究内容
救急医学	藤谷 茂樹 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 重症病態における組織酸素代謝／体液管理／血管壁透過性異常／栄養管理の研究、shock の基礎的研究 2. 高齢者救急と在宅救急 3. Rapid Response System (RRS) 院内急変対応システムについての研究と普及 4. 重症感染症、多剤耐性菌、特にMRSA の研究 5. 一酸化炭素中毒 (CO 中毒) の新しい治療法としての光照射の研究 6. 脳蘇生：NIRS (脳血流の近赤外分光法) を用いた評価 7. 汗中乳酸測定システムを用いた組織酸素代謝評価の検討 8. 救急遠隔医療システムを応用した病院前からの院内及び多施設間までの急変対応医療機器システムの開発 9. アダプティブ RCT (Randomized Clinical Trial) を用いた重症市中肺炎の最適な治療法を迅速に見出す国際研究 (REMAP-CAP)
大学院専用アドレス ; daigakuin-stm99@marianna-u.ac.jp		
スポーツ医学	藤谷 博人 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 筋損傷、再生への分子生物学的アプローチ 2. 軟骨修復、軟骨再生への新規薬剤の研究、開発 3. 膝・足関節装具のバイオメカニクスに関する研究 4. スポーツ選手（特に成長期）の競技別心身機能特性に関する研究 5. スポーツシューズと障害予防に関する研究 6. スポーツ外傷・障害の疫学調査と予防法の策定に関する研究 7. アスリートに対する心筋症早期発見のためのスクリーニング方法の検討 8. 持久系競技のアスリートにおける運動耐容能と気候の関係に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-sportsmedicine@marianna-u.ac.jp		
臨床検査医学	遊道和雄（兼）（代行）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 循環器疾患における各種非観血的指標の臨床的意義 2. 新しい超音波診断法の開発 3. 医学教育と人材育成に関する研究 4. 下肢静脈血流に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-rinsyokensa@marianna-u.ac.jp		
応用分子腫瘍学	太田 智彦 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. トランスレーショナルリサーチ：臨床研究と基礎研究の融合 2. 癌遺伝子、癌抑制遺伝子の機能解析 3. 化学療法、放射線療法に対する DNA 損傷修復の分子経路 4. 薬剤感受性を決定する分子機構の解析 5. 細胞周期とユビキチン修飾に関わる基礎的研究 6. CRISPR/Cas9 を用いた遺伝子編集 7. 遺伝子変異・タンパク質発現の網羅的解析
大学院専用アドレス ; daigakuin-applicative@marianna-u.ac.jp		

専攻分野 (コース)	研究指導教員	主な研究内容
臨床腫瘍学	砂川 優 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 固形がんに対する治療開発に関する研究 2. がん治療における分子腫瘍学に関する研究 3. がんの基礎研究 4. 化学療法における支持・緩和療法に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-clinoncology@marianna-u.ac.jp		
感染症学	國島 広之 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染症迅速診断検査の開発に関わる研究 2. Antimicrobial stewardship に関わる臨床的検討 3. ヒトの Microbiota および薬剤耐性に関わる研究 4. 災害時の感染症危機管理に関わる研究 5. 地域における感染症ネットワーク構築に関わる研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-infectious@marianna-u.ac.jp		
リハビリテーション医学	佐々木 信幸 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急性期脳卒中に対する反復性経頭蓋磁気刺激 (rTMS) 2. 高次脳機能障害に対する反復性経頭蓋磁気刺激 (rTMS) 3. 神経難病に対する反復性経頭蓋磁気刺激 (rTMS) 4. 心不全における運動負荷と循環応答 5. 侵襲状態における筋の分解と合成
大学院専用アドレス ; daigakuin-reha@marianna-u.ac.jp		
疾患バイオマーカー・標的分子制御学	鈴木真奈絵 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. ペプチドミクスによる疾患バイオマーカーの探索 2. ペプチドミクスによる治療標的分子の検出 3. 自己免疫疾患における病態機序の解析 4. 炎症性疾患における標的分子の制御
大学院専用アドレス ; daigakuin-dbamr@marianna-u.ac.jp		
分子神経科学	北岡 康史 教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神経保護とオートファジーの研究 2. 軸索障害モデルを用いた神経保護とグリアの関係の探索 3. グルタミン酸神経障害の研究 4. 糖尿病の神経細胞に対する影響の研究 5. 老化と神経変性疾患の研究 6. 酸化ストレスと神経細胞死の研究 7. NAD 代謝とサーチュインの分子生物学的研究 8. 脂質代謝改善薬の神経保護研究 9. 緑内障の軸索変性の分子生物学的研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-molneurosci@marianna-u.ac.jp		
臨床再生組織工学	小島 宏司 准教授	<ol style="list-style-type: none"> 1. 組織幹細胞の研究 2. 多能性幹細胞の分化研究 3. 幹細胞の臨床応用 4. 組織工学的手法を用いた臨床応用 5. 再生気管と肺幹細胞の研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-crmete@marianna-u.ac.jp		

専攻分野 (コース)	研究指導教員	主な研究内容
医療情報処理技術応用研究分野	小林 泰之 教授	1. Machine Learning/Deep Learning 等の人工知能 (AI: Artificial Intelligence) を用いた各種医療用アルゴリズムの開発 2. 画像診断における AI を用いた診断システムの開発 3. 医療における ICT (Information and Communication Technology) の新たな利活用法及びシステムの開発 4. 病院内の臨床上で様々な課題に対する AI を用いた解決手法の開発
大学院専用アドレス ; daigakuin-medical-ict@marianna-u.ac.jp		
バイオインフォマティクス学	山本 博幸 教授	1. 次世代統合バイオインフォマティクス研究 2. クリニカルバイオインフォマティクス研究 3. がんゲノム解析と臨床応用研究 4. 消化器がんゲノム解析と臨床応用研究 5. 新たながんゲノム医療の創造研究 6. ゲノム統計学の基礎と臨床研究 7. ゲノム情報と臨床情報の統合研究
大学院専用アドレス ; bioinformatics@marianna-u.ac.jp		
生活習慣病プロフェッショナル養成コース	☆曾根正勝 教授(兼) 加藤 智啓 教授(兼) 小池 淳樹 教授(兼) 高田 礼子 教授(兼) 柴垣 有吾 教授(兼) 三村 秀文 教授(兼) 藤谷 博人 教授(兼) (☆モジュレーター)	1. 肥満と脂肪肝、内臓脂肪の病態解明と改善に関する研究 2. 糖尿病に対する科学的根拠に基づいた治療法の確立 3. 非侵襲的検査法による NAFLD・NASH の診断法の確立 4. 大規模遺伝子解析による生活習慣病関連遺伝子の新規探索 5. 科学的根拠に基づく効果的な運動療法、食事療法の確立 6. 生活習慣病の集学的管理と薬物治療法の確立 7. 生活習慣病に関する新規検査法の開発 8. 先端画像診断による動脈硬化と体脂肪分布の評価法確立 9. アウトカム評価と地域診断、disease Management 評価 10. 情報リテラシーと健康教育 (IT を活用した生活習慣改善システム)
大学院専用アドレス ; daigakuin-postgraduate@marianna-u.ac.jp		
最新医学研究コース (社会人対象)	☆遊道 和雄 教授(兼) 各専攻分野研究指導教員(兼) (☆モジュレーター)	研究指導教員により異なるので、指導を受ける教員の頁を参照
大学院専用アドレス ; daigakuin@marianna-u.ac.jp		
高度臨床医育成コース (内科学)	☆峯下昌道 教授(兼) 明石 嘉浩 教授(兼) 伊東 文生 教授(兼) 柴垣 有吾 教授(兼) 曾根 正勝 教授(兼) 山野 嘉久 教授(兼) 新井 文子 教授(兼) 川畑 仁人 教授(兼) 國島 広之 教授(兼) (☆モジュレーター)	1. 総合診療内科領域における臨床研究 2. 呼吸器内科領域における臨床研究 3. 循環器内科領域における臨床研究 4. 消化器・肝臓内科領域における臨床研究 5. 腎臓・高血圧内科領域における臨床研究 6. 代謝・内分泌内科領域における臨床研究 7. 脳神経内科領域における臨床研究 8. 血液・腫瘍内科領域における臨床研究 9. リウマチ・膠原病・アレルギー内科領域における臨床研究
大学院専用アドレス ; daigakuin@marianna-u.ac.jp		

専攻分野（コース）	研究指導教員	主な研究内容
高度臨床医育成コース （画像診断学）	三村 秀文 教授(兼)	1. 頻度の高い疾患の画像解析技術の研究 2. 種々の画像所見から見た疾患特異性の統計学的解析 3. 面検出器 CT の臨床応用 4. 最新 IVR の臨床応用 5. 最新画像解析ソフトの臨床的有用性の検証
大学院専用アドレス ; daigakuin@marianna-u.ac.jp		
高度臨床医育成コース（外科学）	☆宮入 剛 教授(兼) 大坪 毅人 教授(兼) 佐治 久 教授(兼) 津川浩一郎 教授(兼) 藤谷 茂樹 教授(兼) （☆モジュレーター）	1. 消化器外科領域における臨床研究 2. 乳腺内分泌外科領域における臨床研究 3. 小児外科領域における臨床研究 4. 呼吸器外科領域における臨床研究 5. 心臓血管外科領域における臨床研究 6. 救急医学領域における臨床研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-surgery@marianna-u.ac.jp		
高度臨床医育成コース（総合診療）	※2 遊道和雄(兼)（代行） 藤谷 茂樹 教授(兼) （☆モジュレーター）	1. リスクファクターと疾病発症との関連に関する臨床疫学的研究 2. 地域で捉えた医療連携システムの開発に関する研究 3. 新しい地域医療連携システムと医療経済効果に関する研究 4. 感染症の診断推論に関する研究 5. 地域で捉えた高齢者医療・家庭医療に関する研究 6. ポリファーマシー、薬物有害事象、処方最適化などに関する疫学研究 7. 患者意思決定支援に関する研究
大学院専用アドレス ; daigakuin-primary-care@marianna-u.ac.jp		
未来がん医療プロフェッショナル養成 コース	☆山野 嘉久 教授(兼) 伊東 文生 教授(兼) 遊道 和雄 教授(兼) 峯下 昌道 教授(兼) 新井 文子 教授(兼) 清水 直樹 教授(兼) 大坪 毅人 教授(兼) 津川浩一郎 教授(兼) 鈴木 直 教授(兼) 三村 秀文 教授(兼) 砂川 優 教授(兼) （☆モジュレーター）	1. がんゲノム解析に関する臨床研究 2. プレシジョン・メディシンの実践を含む臨床研究 3. プレシジョン・メディシンに必要な基礎研究および Translational Research 4. 小児難治性白血病・リンパ腫に対する新規治療法の研究 5. AYA 世代に対するがん治療について 6. バイオインフォマティクス解析研究について 7. がんと内科的疾患との関連性について
大学院専用アドレス ; daigakuin@marianna-u.ac.jp		

注：※1 2022年3月31日定年退職のため後任研究指導教員選考予定

※2 2022年4月1日研究指導教員を新たに任用予定